

これから「東京の四季」という文章を朗読します。

## とうきょう しき 東京の四季

一年は十二か月です。一年はまた、春・夏・秋・冬の四つの季節に分かれます。三月・四月・五月の三か月を春といいます。六月・七月・八月は夏の季節で、九月・十月・十一月は秋で、十二月・一月・二月は冬です。

春は暖かいです。きれいな花がたくさん咲きます。桜の咲くのもこの季節です。冬の間に積もった雪も溶けはじめます。寒い間、土の中で眠っていた虫も、みんな外へ出てきます。ちょうちょうも美しい羽を広げて飛び回ります。暖かい南の国へ行っていた鳥も帰ってきます。

夏は一年中で一番暑い季節で、八月は夏休みです。みんな海へ行ったり山へ行ったりします。子供たちは長い竹竿を持ってせみとりをします。ですから、夏休みの終わりごろには、みんな日に焼けて真っ黒になります。

暑い夏が終わると、気持ちのいい秋の季節になります。月も一年中で一番きれいです。この季節は読書の季節とも言われています。一番勉強のできる季節です。

冬には雪が降って、山ではスキーができます。一番寒い時でも、東京では零度以下になることは朝だけです。

南の国は一年中温度が高いですが、日本ではこのように四季の変化があります。

これで朗読を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 東京の 四季

東京	: とうきょう	鳥	: とり
四季	: しき	一年中	: いちねんじゅう
春	: はる	暑い	: あつい
夏	: なつ	海	: うみ
秋	: あき	山	: やま
冬	: ふゆ	子供	: こども
季節	: きせつ	竹竿	: たけざお
咲き⇒咲く	: さく	終わり	: おわり
積もった⇒積もる	: つもる	日	: ひ (=太陽)
雪	: ゆき	焼けて⇒焼ける	: やける
溶け⇒溶ける	: とける	真っ黒	: まっくろ
土	: つち	気持ち	: きもち
眠って⇒眠る	: ねむる	月	: つき
虫	: むし	読書	: どくしょ
外	: そと	言われて⇒言う	: いう
美しい	: うつくしい	降って⇒降る	: ふる
羽	: はね	零度	: れいど
広げて⇒広げる	: ひろげる	以下	: いか
飛び回り⇒飛び回る	: とびまわる	温度	: おんど
南	: みなみ	変化	: へんか
国	: くに		

## 思い出の人形

わたしたちの両親は、鎌倉に住んでいます。家の近くに海があり、波の音が聞こえます。遠くに富士山も見えます。

きょうの夕方、姉夫婦と子供たちがひさしぶりに遊びに来ます。それで、いま母は家の中の掃除をしています。父は玄関のげた箱の上に、羽根のついた帽子をかぶった人形を飾りました。

一週間前に、母が物置をかたづけていた時、この人形を見つけました。この人形は、昔父がイギリスへ出張した時に、買って来たものです。ロンドンのデパートで、この人形を見つけた時、日本にいる姉を思い出さうです。大きくて、かわいい目をした人形で、姉によく似ていました。

小さいころ、姉はこの人形をよく遊んでいました。大きくなってからも、姉がこの人形を自分のそばに置いていたのをわたしはよく知っています。

姉は結婚する時に、この人形を持って行きませんでした。その後、人形がどこへいったか、わかりませんでした。

姉が帰ってきて、げた箱の上の人形を見た時、どう思うか、わたしにはわかりませんが、夫婦二人で生活している両親には、大切な思い出の人形のおです。

## 思い出の 人形

思い出	: おもいで	結婚する	: けっこんする
人形	: にんぎょう	思う	: おもう
両親	: りょうしん	夫婦	: ふうふ
鎌倉	: かまくら	生活して⇒生活する	: せいかつする
住んで⇒住む	: すむ	大切な	: たいせつな
家	: いえ (うち)		
海	: うみ		
波	: なみ		
音	: おと		
聞こえ⇒聞こえる	: きこえる		
富士山	: ふじさん		
見え⇒見える	: みえる		
姉夫婦	: あねふうふ		
子供たち	: こどもたち		
母	: はは		
掃除	: そうじ		
父	: ちち		
げた箱	: げたばこ		
羽根	: はね		
帽子	: ぼうし		
飾り⇒飾る	: かざる		
一週間前	: いっしゅうかんまえ		
物置	: ものおき		
見つけた⇒見つける	: みつける		
出張	: しゅつちょう		
思い出した⇒思い出す	: おもいだす		
大きくて⇒大きい	: おおきい		
目	: め		
姉	: あね		
似て⇒似る	: にる		
置いて⇒置く	: おく		
知って⇒知る	: しる		

## 令人緬懷的玩偶

我的父母居於鎌倉。居處附近有海，從那裡可以聽到浪濤聲，還可遠眺富士山。

今天黃昏，姊姊夫婦二人將會帶同孩子們來玩。他們已經很久沒有來過了。所以，母親正在打掃房間。父親則在大門入口處的鞋櫃上，放了一個戴著有羽毛的帽子玩偶作裝飾。

一星期前，母親在整理雜物房時，發現了這個玩偶。這個玩偶是從前父親在倫敦出差時買回來的。父親說他在倫敦的百貨公司裡看到這個玩偶時，不禁想起了身在日本的姊姊。它的眼睛又大又可愛，很像姊姊。

小時候，姊姊經常拿著這個玩偶來玩。我知道，她長大後也一直將此玩偶放在身旁。

姊姊結婚時，並沒有把這個玩偶帶走。自此之後，玩偶便不知所踪了。

雖然我不知道當姊姊回來，看到放在鞋櫃上的玩偶時她會有什麼感覺，但對於夫婦二人過著日子的父母來說，這似乎是一個包含著重要回憶的玩偶。

日本には景色のいい所がたくさんあります。なかでも日本三景と言われている松島と

天の橋立と宮島が一番有名です。

松島は宮城県にある二三百の小さい島からできています。松の茂っている島々はいつ  
も緑が多いです。高い山に登って周りの景色を眺めるのもいいし、船で島の間を通って見物す  
るのもすばらしいです。また、附れた日、月の夜、雪の朝、いつ見ても松島は景色のいい所

です。天の橋立は京都の名所です。海の中に突き出た細長い土地で、長さ④は二キロ⑦ぐらい、  
幅⑧は五十メートルから百メートルぐらいあります。白い砂の上に青い松が一面に生えています。

ちょうど長い橋のように見えます。大変美しいです。

宮島は広島県にあるきれいな島です。島の山には鹿がたくさん住んでいます。有名な厳島神  
社もこの島にあります。赤く塗った神社が緑の山の麓にあつて、とてもきれいに映ります。特に  
朝の薄らした⑨時は神社の建物や回り廊下⑩が海の面に浮いて絵⑪のようです。神社の前の海にあ  
る大きい鳥居⑫は日本一の⑬の大鳥居です。日本を紹介⑭するスライドや映画などにもよく出てき

ます。このように日本の太平洋側にも日本海側にも大変きれいな所があります。わたしは去年デイス  
ニーランド⑮へ行きました。が将来いつか⑯是非⑰日本三景も訪ねてみたいと思います。

## 日本三景

日本三景	: にほんさんけい	砂	: すな
景色	: けしき	青い	: あおい
所	: ところ	一面に	: いちめん
言われて⇒言う	: いう	生えて⇒生える	: はえる
松島	: まつしま	橋	: はし
天の橋立	: あまのはしだて	見え⇒見える	: みえる
宮島	: みやじま	美しい	: うつくしい
宮城県	: みやぎけん	広島県	: ひろしまけん
二三百	: に、さんびやく	鹿	: しか
島	: しま	住んで⇒住む	: すむ
松	: まつ	厳島神社	: いくしまじんじゃ
茂って⇒茂る	: しげる	赤く⇒赤い	: あかい
島々	: しまじま	塗った⇒塗る	: ぬる
緑	: みどり	神社	: じんじゃ
山	: やま	映り⇒映る	: うつる
登って⇒登る	: のぼる	特に	: とくに
周り	: まわり	潮	: しお
眺める	: ながめる	満ちた⇒満ちる	: みちる
船	: ふね	回り廊下	: まわりろうか
通って⇒通る	: とおる	浮いて⇒浮く	: うく
見物する	: けんぶつする	絵	: え
晴れた⇒晴れる	: はれる	鳥居	: とりい
月	: つき	日本一	: にほんいち
雪	: ゆき	大鳥居	: おおとりい
京都	: きょうと	紹介する	: しょうかいする
名所	: めいしょ	出て⇒出る	: でる
海	: うみ	太平洋側	: たいへいようがわ
突き出た⇒突き出る	: つきでる	日本海側	: にほんかいがわ
細長い	: ほそながい	将来	: しょうらい
土地	: とち	是非	: ぜひ
長さ	: ながさ	訪ねて⇒訪ねる	: たずねる
幅	: はば	思い⇒思う	: おもう
白い	: しろい		

## 日本三景

在日本有很多景色秀麗的地方。當中以被喻為「日本三景」的松島、天橋立和宮島最為有名。

松島是由位於宮城縣的二、三百個細小島嶼所構成。長滿松樹的各個島嶼一年到晚都綠意盎然。不論登上高山遠眺周遭的景色，又或者乘船通過島嶼間去遊覽，都是極為美好的。另外，不論在放晴的日子、月亮高掛的晚上、白雪皚皚的清晨…任何時分去欣賞，松島的景色都是如此秀麗。

天橋立是京都的著名景點。它是一片從海面露出，既窄而長的土地。全長約兩公里，寬約五十至一百米。在白白的砂上青翠的松樹長滿一旁。看上去剛好像一條長長的橋，十分壯麗。

宮島是一個位於廣島的漂亮島嶼。在島的山上住著很多鹿兒。著名的巖島神社也位於此。赤紅的神社聳立在綠油油的山上，看上去極為漂亮。尤其是在潮漲時，整座神社與周遭的長廊都浮於海上，猶如一幅圖畫。位於神社前海中的巨大鳥居，是日本國內最大的一個。它經常出現在介紹日本的幻燈片與電影中。

就是如此，日本的太平洋側與日本海側都有非常秀麗的地方。雖然我去年到過了迪士尼樂園，但我真的希望在將來的日子裡能到日本三景去一睹它的風采。



## 初めてのアルバイト

これから「初めてのアルバイト」という文章を朗読します。

先週の日曜日に、わたしは友達の家でアルバイトをしました。友達の家は、小さい喫茶店です。喫茶店には白くて丸いテーブルとイスがあって、テーブルの上には花が置いてあります。壁には絵がかけてあります。店の中は、コーヒーのいいにおいがします。そして、いろいろな種類のケーキがあります。

初めてのお客さんは、若い女の人が二人でした。わたしは「いらっしゃいませ」と小さい声で言いました。胸がドキドキしました。わたしは、日本語がまだ上手ではないので心配でした。お客さんは、メニューを見て、「紅茶を2つとチーズケーキを2つください。」と言いました。わたしは、お盆の上にケーキと紅茶をのせて運びました。お客さんが「ありがとう。」と言ったので、わたしはうれしくなりました。

それから、つぎつぎと、お客さんが来ました。わたしは、「いらっしゃいませ！」と大きい声で言って、メニューと水の入ったコップをテーブルに運びました。ケーキや飲み物の名前も全部覚えました。

午後7時にやっと仕事が終わりました。友達のお父さんが、アルバイト代とチョコレート・ケーキを5つくれました。そして、「毎週日曜日にこの店で働きませんか。」とわたしに聞きました。わたしは、「はい。みなさん親切ですし、日本語の勉強もできるので、ここで働きたいです。よろしくお願いします。」と答えました。

でも、わたしがその店で働きたかった本当の理由は、ケーキが大好きだからなのです。

これで朗読を終わります。ご<sup>せいちょう</sup>清聴ありがとうございました。

## 初めての アルバイト

初めて	: はじめて
家	: いえ (「うち」)
喫茶店	: きっさてん
白くて⇒白い	: しろい
丸い	: まるい
置いて⇒置く	: おく
壁	: かべ
絵	: え
種類	: しゅるい
お客さん	: おきやくさん
若い	: わかい
声	: こえ
胸	: むね
心配	: しんぱい
紅茶	: こうちゃ
お盆	: おぼん
運び⇒運ぶ	: はこぶ
言った⇒言う	: いう
水	: みず
覚え⇒覚える	: おぼえる
仕事	: しごと
アルバイト代	: アルバイトだい
働き⇒働く	: はたらく
答え⇒答える	: こたえる
理由	: りゆう
大好き	: だいすき

## 我的第一份兼職

上星期日，我在朋友的家裏做兼職。我朋友的家是一所細小的茶室。在茶室裏有圓圓的白色桌椅，在桌上放著鮮花。牆上掛著圖畫。店內洋溢著咖啡的香氣。而且還有各式各樣的蛋糕。

最初接待的客人是兩位年輕的女性。我輕聲地向她們說：「歡迎光臨」，心撲嗵撲嗵的跳得很厲害。由於我的日語並不好，所以很擔心。客人看過餐牌後對我說：「要兩杯紅茶和兩件芝士蛋糕。」。我將蛋糕和紅茶放在托盤上送給客人。客人說：「謝謝。」，我聽著高興起來。

然後，其他客人也陸續到來。我放開聲音說：「歡迎光臨！」，把餐牌和注滿水的杯子送到桌上去。我還記住了所有蛋糕和飲料的名稱呢。

工作終於在下午7時結束。朋友的父親給了我兼職的工錢和五件巧克力蛋糕。然後還問我：「你願意每週的星期日在這店子裏打工嗎？」我回答說：「願意。在這兒不但大家十分親切，而且我又能夠學習日語，所以很想在這裏工作。就拜託了。」

不過，其實我想在那店子裏打工的真正理由，是因為我很喜歡吃蛋糕。

わたしは田中です。毎朝六時半に起きます。そして、ラジオの中国語の勉強を始めます。中国語の発音はたいへん難しいです。七時半ごろ朝御飯を食べます。わたしの家は郊外にあります。会社は街のまん中なか①にあります。家から会社まで五十五分くら

いかかります。電車はいつも②たいへん込みます③。会社は九時に始まります。仕事はたいてい④六時に終わります。時々駅からタクシーで帰ります。三分ぐらいます。四百五十円かかります。

わたしの会社は旅行社です。わたしは本社⑤にいます。支店は全国に入か所あります。仕事はたいへん面白い⑥です。わたしたちはよく⑦出張⑧します。来週は九州へ行きま。しかし、出張はととも⑨疲れます。

日曜日はほとんど⑩の会社は休みます。しかし、わたしの会社はめったに⑪休みません。社員は交替で休みます。

休みの日は一か月に四回ぐらいます。その日は昼ごろに起きます。あまり⑫外出しません。うちでゆっくり⑬小説を読みます。夜はビール⑭を少し飲みます。そして、ステレオ⑮で音楽を聞きます。時々テレビも見ます。

## 田中さんの 一日

始め⇒始める	: はじめる
発音	: はつおん
難しい	: むずかしい
家	: いえ
郊外	: こうがい
街	: まち
込み⇒込む	: こむ
仕事	: しごと
旅行社	: りょこうしゃ
本社	: ほんしゃ
支店	: してん
全国	: ぜんこく
八か所	: はちかしよ／はっかしよ
出張	: しゅつちよう
九州	: きゅうしゅう
疲れ⇒疲れる	: つかれる
休み⇒休む	: やすむ
社員	: しゃいん
交替	: こうたい
外出	: がいしゅつ

## 田中先生的一日

我是田中。我每天 6 點半起床。然後，就開始聽收音機學(習)中文。中文的發音非常難。7 點半左右，我便吃早餐。

我的家位於郊區。而我的公司則位於我區的正中心。由我家到公司需時約 55 分鐘。火車內經常都十分擁擠。

公司由早上 9 點開始營業。下班時間約為下午 6 點。我有時候會從車站乘的士回家。需時約 3 分鐘。車費為 450 日元。

我的公司是一所旅行社。我在總公司上班。分社則分佈在全國 8 個不同地方。我的工作十分有趣。經常需要出差。下星期會到九州去。不過，出差可是令人十分疲累的。

於星期日差不多所有的公司都會休息。可是，我的公司則很少有假期。職員都是輪流放假的。

我每個月大約有 4 天假期。逢放假我就睡至中午才起床。我很少外出。愛在家中悠閒地看小說。晚上我會一邊飲啤酒，一邊用音響聽音樂。然後，於 11 點左右睡覺。

これから「日本人」という文章を朗読します。

にほんじん  
日本人

ジャパニーズ・スマイルという言葉がある。日本人は、よくわけのわからない笑いをするとと言われる。外国人はうす気味悪く思い、これについて悪口を言うが、それは日本人の気質を知らないからである。

日本人は、昔からよい悪いという判断を直接にはっきりと言うことを避ける。相手の立場を考えて、その人を傷つけることを恐れるからである。

日本人は、いつも相手の立場を考えて、ものを言う。英語では自分の答えが肯定の時は'Yes'、否定の時は'No'と言うが、日本語の「はい」や「いいえ」は相手の問い方を重んじる。例えば、「行きませんか。」と聞かれた時は、「はい、行きません。」とか「いいえ、行きます。」と答える。行かないことを相手が予想して聞いていると考えるからである。

人に物をあげる時でも、「つまらない物ですが」と言う。人を呼んでごちそうする時も、「何もありませんが」と言う。理論的にはつまらない物でも仕方がない、「ない物は食べられない」と考えられる。しかし、日本人は自分で自分の物を「よい物」とか「立派な物」などとは言わない。それは、自分の考え方を相手に押しつけることを避けたいからである。

日本人の表現は、このように、いつも複雑な日本人の心理を反映している。

これで朗読を終わります。ご清聴ありがとうございました。

## 日本人

笑い	: わらい	複雑: ふくざつ
言われる⇒言う	: いう	心理: しんり
外国人	: がいこくじん	反映: はんえい
うす気味悪く⇒ うす気味悪い	: うすきみわるい	
思い⇒思う	: おもう	
悪口	: わるぐち	
気質	: きしつ	
悪い	: わるい	
判断	: はんだん	
直接	: ちよくせつ	
避ける	: さける	
相手	: あいて	
立場	: たちば	
考えて⇒考える	: かんがえる	
傷つける	: きずつける	
恐れる	: おそれる	
肯定	: こうてい	
否定	: ひてい	
問い方	: といかた	
重んじる	: おもんじる	
聞かれた⇒聞く	: きく	
答える	: こたえる	
予想	: よそう	
呼んで⇒呼ぶ	: よぶ	
理論的	: りろんてき	
仕方	: しかた	
食べられない⇒食べる	: たべる	
考えられる⇒考える	: かんがえる	
考え方	: かんがえかた	
押しつける	: おしつける	
避けたい⇒避ける	: さける	
表現	: ひょうげん	



現在開始朗誦一篇名為『日本人』的文章。

## 日本人

日本人有句說話叫 japanese smile。有些人會說日本人經常會無緣無故笑起來，令有些外國人覺得不可捉摸，並因此說日本人的壞話。這些都是因為他們不理解日本人的性格所致的。

日本人一直以來都會迴避直截了當地否定別人。他們會為對方著想，深恐會傷害到別人。

日本人經常站在對方的立場來說話。說英語時，如果答案是肯定的話會說『yes』；而否定的話則說『no』。不過日語的『是』或『否』卻是用來尊敬對方的答案而設的。例如：問『不去嗎？』時，答案會是：『是的，不去』或『不是，去的』。這種答問方式是因為回答者考慮到發問者用否定形式來發問，因此他們在回答時會用是的，不去來肯定；不是，去的來否定發問者的問題。

另外，日本人在送禮時也是這樣，他們會說：『只是一些沒用的東西……』；在邀請別人來吃飯時也會說：『沒有東西可吃……』。理論上來說『沒用的東西送人也沒用』、『沒有菜的話便無法吃』，但日本人這樣說其實是因為他們不會自己稱讚自己的東西很好或高級。這種做法也是為了避免把自己的想法強加於人而出現的。

就這樣，日本人的表達方式常常反映出日本人複雜的心理。朗誦到此為止。

謝謝各位收聽。